

手を貸そう
LEND A HAND

IBARAKI ROTARY

Club Weekly Bulletin

RI第2660地区 茨木ロータリークラブ (創立 昭和34年(1959年)12月23日)



事務局 大阪府茨木市上中条一丁目9-20 茨木商工会議所 TEL.(072)622-2255 〒567-0881
 例会 毎水曜日12時30分 いばらき京都ホテル 茨木市中穂積一丁目1-10 TEL.(072)620-2121
 会長/岡 仁一 幹事/掛谷 建郎 会報委員長/吉江 建郎
 委員/山口、山岡 木本

姉妹クラブ:台北西北区扶輪
 友好クラブ:インドネシア・チネレ

No.18 平成15年11月12日

本日の卓話
 11月12日(水)
 ガバナー補佐公式訪問
 「クラブ協議会」
 瀧川紀征ガバナー補佐

例会記録

第2168回例会 11月5日(水)曇
 国歌「君が代」斉唱
 ロータリーソング「ROTARY」斉唱
 ゲストスピーカーご紹介
 横山守雄様(地区R財団委員会副委員長)
 ビジターご紹介
 河野通貞君(高槻西RC)

11月会員誕生 田中
 11月夫人誕生 長澤厚子、掛谷知子
 11月結婚記念 坂井(正)、高島、武智、吉江
 11月入会記念 日野岡、菊山、中江

会長の時間 中西 勝副会長

今月はR財団月間です。本日の例会は、地区R財団委員会から横山守雄副委員長をお迎えして卓話をしていただく事になりました。

お忙しいところ来ていただきありがとうございます。よろしくお祈りします。

11月号「ロータリーの友」でRIジョナサン会長の

出席報告

第2168回例会			前々回(第2166回)		
会員数(免除)	出席	欠席	出席率	欠席	補正出席率
34(12)	16	6	72.72%	2	95.45%

メッセージ“夢を実現するR財団”のなかで、2002~2003年度に日本のロータリアンは1,700万\$以上のR財団寄付をしてくださいました。これは世界で二番目に大きい貢献であることに敬意を表して、日本の羽織を着ておられる写真が掲載されています。

(因みに、2660地区の923千\$の寄付額は日本のなかで二番目の貢献度でした)

RIジョナサン会長は、R財団は、飢餓、貧困、疾病そして非識字に対抗する最も効果的な手段であると述べておられます。

また、昨年度のポリオ・プラス募金の目標額であった8,000\$は超えたことを報告されています。世界中のポリオ症例の99%を撲滅しましたが、ポリオ撲滅を達成するまで支援しなければならないと言われています。

11/5を含む一週間つまり今週は世界インターネット週間にあたります。5月の地区大会では新世代合同会議のメンバーのなかでIACも登壇して活動報告をしていただいていたことが印象に残っています。

11/12は瀧川ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会です。必ず出席してください。

11/14(金)、15(土)は地区大会です。出来るだけ多くの出席者を期待します。

11/27(木)は若林ガバナーをお迎えして、茨木3RC合同例会です。今月は多くの行事のある月です。ご協力をお願いします。

幹事報告

掛谷建郎幹事

1、例会変更(北摂11RCの例会変更)

茨木:11/12(水)ガバナー補佐公式訪問

12:30~例会開始

13:05~14:30クラブ協議会

11/27(木)ガバナー公式訪問

12:30~13:30 3RC合同

例会終了後合同で記念写真撮影

2、 R I 及び 2660 地区連絡事項

1) 米山梅吉記念館「全国一人 100 円募金運動」の
お願い

委員会報告

国際奉仕委員会

山口和雄委員長

インドネシア訪問の報告

10/29 出発し 11/5 無事帰国しました。ジョグジャカルタ RC、バリ・デンバサール RC と女性だけのバリ・タマン RC を訪問しました。前年度パソコンを送った、タルトゥンの専門学校へも 2 日間かけて 15 時間車に乗って行ってきました。なかなかしんどい所です。確かに、パソコンは設置されておりました。

ジャカルタの方へは、理事会決定した「みつくちの基金」として 30 万円を持って行かせて頂き、先方クラブと署名をしてきました。

早速、ジャカルタの方からお礼の文面と、新聞に載った記事が送られてきましたので、パナーと一緒に回覧させていただきます。

米山記念奨学会寄付報告

田中会員よりいただきました。

本日までの合計 200,000 円

卓話

「R 財団月間に因んで」

地区 R 財団委員会副委員長 横山守雄氏

会員の皆様から寄付金を募ることだけが、クラブ財団委員会の役割ではありません、それよりも重要なことは、ロータリー財団が提供しておりますいろいろな活動プログラムを、自分達のクラブ活動へ取り入れて、クラブの活性化へ結び付けることです。

財団の活動プログラムの中には、従来からの親善奨学生や GSE チームメンバーの派遣や、受入れといった活動がありますが、近年はクラブ独自の社会奉仕プロジェクトや国際奉仕プロジェクトを各種の補助金でサポートするプログラムに世界各国の地区やクラブは力を入れております。財団からの補助金は、各クラブやロータリアン個人が使い易いようにその申請手続きが年々簡素化されております。

ロータリー財団は、財団本部や地区委員会の活動に主眼をおいているわけではありません。各クラブ、各ロータリアンの奉仕活動をアシストするために存在しているのです。ですから、ロータリー財団がこれほど自分達のクラブ活動を支援してくれるのであれば、財団への寄付金も 120 ドルとはいわず、150 ドルでも 200 ドルでもしようかなれば、そのクラブは奉仕活動の盛んな優秀クラブと言えるのではないのでしょうか。

皆様のクラブにおかれましても、ロータリー財団の活動プログラムを、どのようにクラブ独自の活動へ取り入れて行くかご検討をお願いいたします。

ニコニコ箱

秋山 勤 S.A.A

夫人誕生を記念

掛谷

結婚記念

高島、吉江

卓話者横山様よりお礼をニコニコに頂きました

横山地区 R 財団副委員長様に卓話をいただき有難うございました

中西

インドネシアより無事帰国

長澤

横山地区 R 財団副委員長をお迎えして

長澤

急な出張で失礼します

簡

前回欠席しました

藤井

次男が先月結婚しました

野田

連続 2 回欠席と本日早退のお詫び

野田

入会 8 年になりました、次は 10 年、15 年をがんばります

中江

早退させていただきます

戸川

写真を頂いて

日野岡、野田

本日計 65,000 円

累計 954,309 円

次回卓話

「大阪大学との産学連携による新商品の開発」

阪大フロンティア研究機構 黒川敦彦氏